

貝塚市立自然遊学館

もっと知ろう関西の海・大阪湾探検隊出動

実施期間：平成27年5月1日（金）～平成28年2月28日（日）



【事業の目標】

- 大阪湾各所のフィールドを舞台に、子どもたちが海の自然や生き物の観察・調査活動を通じて、大阪湾の自然環境や生物環境の現状を感じると共に、同じ大阪湾での場所ごとの違いを対比を通してより深く知り、地元の海である大阪湾への親しみや、海の保全意識が芽生える機会となることを目標とした様々な活動を行います。
- 大阪湾の場所ごとの自然環境や生物環境を子ども達自身がまとめ、場所ごとの対比を通じて大阪湾の現状を市民に向けて発表することによって、身近な海への理解や保全の意識を持つ機会となることを目標とします。

活動の様子

■ 貝塚二色の浜沖でアマモ観察・調査「海をきれいにするために自分たちでできることは何だろう？」

【開催日時】平成27年7月18日（土） 13:00～16:00

【開催場所】貝塚市二色の浜

【参加者数】7家族18名（子ども10名、大人8名）

【目標・内容】

- 安全に楽しく海の中を観察する方法として、シュノーケリングの使い方を覚えます。その後実際に装着して、アマモと生き物の観察を行います。
- シュノーケリングの後は地引網をひき、見つかった生き物について学習したりスケッチをし、きれいな海とアマモ・生き物の関係について知り、自分達に何ができるのかを考える機会とします。



活動場所の「二色の浜」



受付の様子



海に入る前の事前学習として、貝塚市社会教育課長から「アマモの生えるきれいな海や生き物を実際に観察し、今後自分たちにも出来る事を考えるきっかけにして下さい」という今回活動の趣旨説明がありました。

その後、手軽に海に親しむ方法の一つとしてシュノーケリングの説明を行い、安全に楽しくアマモや生き物を観察するための学習を行いました。



浅瀬でシュノーケリングの練習をして、慣れてきたところでアマモの群生地帯を実際に観察しました。

この日は台風の後のため水質が悪く、あまり多くの生きものは観察できませんでしたが、講師から「アマモはきれいな海にしか生えない」という事や「生き物にとって重要な住処」であるということを知りながら、地域の海の現状を実際に見て感じる機会となりました。



シュノーケリングによるアマモ観察の後は、参加者全員で地引網体験を行い、シュノーケリング中には見られなかった様々な生き物を捕まえました。特に多く見つかったのが大阪湾では「チヌ」と呼ばれ親しまれるクロダイの幼魚で、「チヌの海」とも呼ばれる大阪湾ならではの馴染みのある生き物がたくさん見つかったことは、参加者にとっても印象に残る体験であり、きれいな海とアマモ場や生き物の関係を知り、今後自分達が地域のきれいな海を守っていかなければならない事を考えるきっかけとなりました。